

## 渋滞都市バンコク 新鉄道網への期待

バンコクは世界有数の渋滞都市で、普段は自動車でも10分の距離でも通勤・帰宅時間帯は1時間程度を要することは日常茶飯事です。タイにおける交通渋滞による人の往来と物流の停滞は、年間1,600億円もの経済損失に相当するといわれており、タイ政府は渋滞解消のため、都市部から郊外の鉄道網整備を積極的に進めてきました。今回はバンコクの新鉄道網と周辺エリア開発への期待についてご紹介します。

### ◆ 世界渋滞都市ランキング常連のバンコク

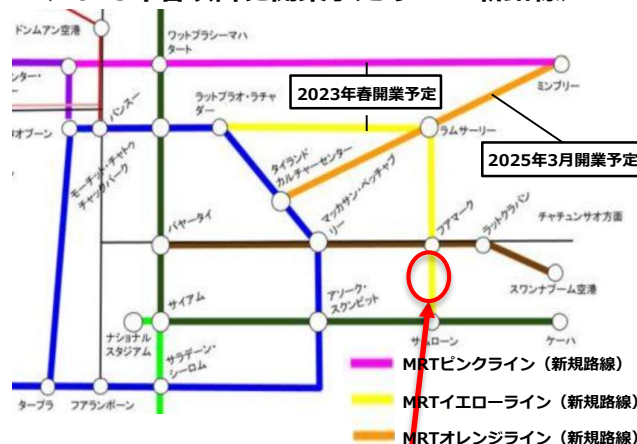
タイは国策として1960年代から自動車産業の誘致と関連企業の成長支援策を実施してきました。経済成長とともに国民所得が向上し、自動車の個人所有が増加し始めると、自動車関連減税などの景気刺激策を実施して後押ししたことで、車社会化が加速しました。また、交通マナーの悪さや交通事故の多さが社会問題となっており、交通事故死亡者数が高止まりしています。こうした状況に加え、政治・経済・文化がバンコクに一極集中しており、都心部における渋滞は世界トップクラスの状況が続いています。

### ◆ 新鉄道網と今後のバンコク

タイ政府は、渋滞解決策として公共交通機関の拡充に継続的に取り組み、都心部を中心に地下鉄（MRT）、高架鉄道（BTS）の交通網を伸ばしています。MRT新路線として2023年春からは、ピンクライン・イエローライン、2025年3月にはオレンジラインが開業予定です。

これまでの鉄道網拡大は、バンコク中心部を生活・就労エリアとする住民（多くの在タイ日本人を含む）の居住エリアの拡大や都市開発、リテール産業の進出などに直結してきました。今次新規開業するイエローライン沿いのシーナカリンエリアは、タイ人ミドルアッパー～富裕層の居住エリアであり、巨大商業施設シーコンスクエアや人気観光地のシーナカリン鉄道市場が立地しています。また、隣接するバンナーエリアは日系企業の拠点多いビジネス街です。都市部～郊外のアクセス向上による渋滞緩和・利便性の向上にとどまらず、バンコク都心部の拡大・発展も注目されています。

#### <2023年春以降に開業予定のMRT新路線>



(タイ・バンコク駐在 中村 康宏)

#### 【お問合せ先】

七十七銀行 市場国際部 アジアビジネス支援室  
TEL.022-211-9880

#### 【Global Letter NEXT ホームページ】

その他の記事はこちらからご覧ください。

[https://www.77bank.co.jp/kokusai/globalletter\\_next/](https://www.77bank.co.jp/kokusai/globalletter_next/)



本紙記載の内容につきましては、当行が信頼できると考える情報に基づき作成しておりますが、その正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談いただくようお願い申し上げます。